

土屋真緒さんへの

インタビュー

- 職業：会社員
- 家族構成：単身
- 移住歴：2年
- お気に入りのスポット
阪内川沿いの桜並木
ベルファーム
松坂城跡の本丸上段跡



出会いや別れのある異動の季節。大阪で初めての一人暮らしを送るのは、東京都から移住した土屋 真緒さんだ。移住して既に二年になるが、移住に不安はなかったかと聞くと「観光名所を回れる良い機会だから不安はありませんでした」と答える。会社の人事異動で配属先が松阪になり移住することになったが、たまたま良い物件が直ぐに見つかり家探しには困らなかったそうだ。

「松阪は牛のイメージが少なく畜産の町だと思っていました。実際に住んでみると、市街地には店や病院、薬局が多いので良い所ですよ。ちよつと行けば海も山もあるし、イチゴなどは地産地消で安いです。都会は在庫がないように少量しか仕入れないけど、松阪肉などの食材も半額シールを貼られたりしていろんな種類の食材を安く購入できる。そのうえ、美味しいので食べるのが楽しいわ」と語る。ただ、みそだれ文化には驚いたそうだが・・・。

また、新たな提案として「地元根付いたスポーツチームなどがあれば、試合に勝った日にはセールをするなどして町の活性化に繋がる。あと災害

『車を買って松阪市をもっと回りたい』

に備えて、スーパーや病院にハザードマップを置いてもらえるといいな。それから、せっかくお茶があるのだから抹茶を使ったスイーツや、他社とコラボしたほうが良いのよね。」と町の更なる発展を期待していた。

そんな彼女がお気に入りのスポットとしてあげた、「松坂城跡」は、蒲生氏郷により築城された平山城で、今は豪壮な石垣が残るのみですが、武家長屋の御城番屋敷などが隣接する松阪の名所であり、その石垣はかつての天守閣に思いを馳せることの出来る名城です。特に好きだと言う「松坂城跡の本丸上段跡」は、春には桜が舞い市民を楽しませる憩いの場だ。

市内を回り新たな発見を楽しんでいる彼女だが、車を所有してないので、どこに行くのもバスか自転車の必要があり、車社会の松阪では大変で「終電が早いのは驚いた。病院行のバスも少なく



松坂城跡

バス代も高いし、コミュニティバスは寄る所が限られていて本数も少ないですね。」と改善点を指摘したが「おかげで自転車で行動するようになって痩せたわ」と笑う。

にこやかに話す彼女は「都会暮らしだったので、田舎を楽しむためにも車を買って、飯南などへ行って観光したいし、生活の質も向上したい。」と口調は軽やかで、楽しそうだ。きっとこれから新たな松阪の魅力を見つけてくれるだろう。